

## 令和元年度大津町子ども・子育て会議 議事録

- 開催日時 令和2年1月31日（金）13：00～
- 会場 大津町役場2階「大会議室」
- 出席委員 田中会長 安浪副会長 江口委員 太田委員 野山委員 斎藤委員  
備海委員 高山委員 藤本委員 村上委員 鹿瀬島委員（計11名）
- 欠席委員 堀委員 藤原委員 野田委員 工藤委員
- 事務局 吉良教育長、市原教育部長、大隅子育て支援課長、大塚子育て支援係長
- コンサル 株式会社サーベイリサーチセンター南九州事務所 栗原主任
  
- 次第
  1. 開会
  2. 議題
    - （1）第2期大津町子ども・子育て支援事業計画（案）について
    - （2）私立幼稚園の新制度への移行について
    - （3）その他
  3. 閉会

## ■議題

### (1) 第2期大津町子ども・子育て支援事業計画(案)について(1~39ページ)

#### 【事務局より説明】

[会長] 今、事務局のほうから39ページまでということで、主に文言や数字等を修正したところや新たに追加したところについての説明がありましたが、ここまででご質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。後ほど、今後の見込み量とかで説明がありますが、それを含めて前のほうにお気づきの点があれば、ご質問等構いませんのでよろしくお願ひいたします。

### (1) 第2期大津町子ども・子育て支援事業計画(案)について(40~49ページ)

#### 【事務局より説明】

[会長] 40ページから、特に42ページの「計画の目指す姿」ということで、「子どもの健やかな育ちを支え 夢と笑顔あふれるまち おおづ」ということにはどうだろうかという提案です。

後はもう、それぞれ目標の中に入れ込んでいったというものと、今、再度説明がありましたけれども、教育保育の量の見込み・確保方策について、前回数字が抜けていた分、また定員増等をお願いして、その分で確保のほうに数字が上がってきている分、いろいろと説明がございましたけれども、ここまでの間でご質問等があればよろしくお願ひします。

[会長] まず、この「計画の目指す姿」という42ページ、43ページ、44ページ、これについてはこういうかたちでよろしいでしょうか。もうちょっと、こういうふうに変えたほうがいいのかですね。なければ、事務局が何か月もかかって考えたのだらうと思いますので、こういうかたちでお願いしたいと思います。

45ページのそれぞれの一番下の「妊娠、出産、産後」というかたちにおいて、こういう施策があるというふうに書いてありますが、説明聞いてようやく「そういう意味か」とわかったので、良ければ下のほうと、上のほうにも一つ付け足したほうがいいのかと思います。

48、49ページで、量の見込み・確保方策について説明がありましたが、そちらで何かお尋ねになられたいことがあればよろしくお願ひいたします。

3号の1~2歳の確保方策のところ、令和2年、3年、4年までは増えていき、そして令和5年と6年で減るというのは何か意味があるのですか。3号の1~2歳が、令和4年は390人、令和5年は388人、令和6年は378人。確保する量が減るというのはどういう計算になっているのですかということですか。

[事務局] すみません、令和4年度から令和5年度の、保育所全体での定員のほうを総計で1,210から1,230ということで、定員増をさせていただいていますが、中の1～2歳と0歳の内訳になります。素案としての数字は増えていますが、内訳でいうと1歳児が減っているようになりますので、内容を確認して修正させていただきたいと思います。

[会長] 総数では増えているけれども、0歳と1～2歳の内訳の数字ということで、そこは修正をよろしくお願いします。

[事務局] はい。

[会長] 保育の受け入れ先の確保として、令和2年度に定員増をお願いして、残りのどうしてもマイナスになる部分は、弾力運用で保育所のほうにお願いをしていくということですね。令和4年度においては小規模保育所を一つ増やし、令和5年度は保育所の定員増というかたちでいいですか。

[事務局] はい。令和5年度には定員増と併せて、令和5年度は幼稚園を認定こども園化したいと思います。

[会長] 令和5年度に幼稚園を認定こども園に移行するということですか。

[事務局] はい。それで定員を確保できればと思います。

[会長] わかりました。そのほかにご質問等はございませんか。

先ほども言いましたとおり、全体的なことでご質問があればお受けしますので、続きをお願いします。

(1) 第2期大津町子ども・子育て支援事業計画(案)について(38ページ、50～55ページ)

**【事務局より説明】**

[会長] 学童の部分について今説明がありましたけれども、何かご質問等あればよろしくお願いたします。

基本的なことですが、保育所のほうには量の見込み・確保方策は前のほうに書いてありますね。後にも続いてきますが、統一するなら統一して、前のほうに量の見込み・確保方策が来て、後で表を載せるとか、どちらかにきれいに統一したほうがいいのではないかと思います。

[事務局] 訂正させていただきます。

[会長] 基本的には、前回も説明がありましたけれども、量の見込みと確保については大体その中には入っているということですが、利用状況が増える場合もあるので、その時は新規施設も含めて考えていくということによろしいでしょうか。

[事務局] はい。

[会長] 利用率で特段、特色のある学校はありますか。実際利用されていて、特段に利用率が高いとか、特段に高い学年があるとか、そういう特色はありますか。

[事務局] 室小と大津小は利用率が高く、高学年までの利用が増えているという傾向があります。美咲野小は、利用率が他の学校と比べて少し傾向があります。大津小、室小につきましては増加の傾向にあります。

[会長] 生徒数も多いですからね。ちょっと利用率が上がると人数も当然増えるということでしょうね。そのほかに質問ございませんでしょうか。

それでは続きをお願いいたします。

#### (1) 第2期大津町子ども・子育て支援事業計画(案)について(56~89ページ)

##### 【事務局より説明】

[会長] 全般的に、最後まで今、主に変わった点についての説明がございましたけれども、ご意見ご質問等があればよろしく願いいたします。

[委員] 先ほど説明されたところですが、48ページの「量の見込み」のところですが、小規模を令和4年度に一つ作って、令和5年度にこども園化を検討するというような内容かと思います。実際、来年度の入園申し込みを見ても、なかなか1歳児が入りきれてないというのが状況としてはあるかと思います。そして実際1歳児が入れないということは、言い方を変えると2歳児も入れない。現場としては、1歳と2歳は、職員定数が6人ずつで一緒です。1歳で入れないと2歳でも入れない。どこの施設でも難しいというような状況の中で、今、人口ピラミッドを見ても大津町としてはピークに近いような状況かと思います。そうすると今、令和4年に計画を立てられていますが、もう少し早めに対応したほうが、町民にとっては現状をよくするためには必要なのかなと感じるところです。

ただ、小規模を考えておられますが、ここも難しいところで、実際、小規模からの転

園希望者も保育園には多いというのが実情です。そう考えるとやはり保育園をもう一つ、60なり90なりないとバランスがとれない。

そして、やるならば早めにしてもらって、園児が落ち着いたら公立の保育園、幼稚園を見直してこども園にするとか、それは令和5年度とかその辺でいいのかもしれないですけど、今の来年度の春の申し込みを見ている限りちょっと厳しいなと思います。施設側からこういう意見を言うのはどうかと思われるかもしれませんが、そういう状況もあると思うので、もうちょっと早めに対応出来るなら早めにしてもらったほうが、町民としてはいいのかなと感じるところです。

[会長] どうですか。

[事務局] このところ検討させていただきまして、前倒しも考えたいと思いますし、今、大津町の資源として幼稚園というのがありますので、そちらの認定こども園化も含めて有効活用していただいて、協議をしていきたいと思います。

[会長] 今、ご意見がありましたとおり、前倒しできる部分があれば前倒しをする、また新たな保育所や公立を含めた認定こども園化も含めて早急に対応をする。現実問題としてまだマイナスがあるのは現実ですので、早めに対応していただいて、またそういう変更等ができるようであればこの会議にかけて、この計画の変更はできると思いますのでよろしくお願いいたします。

そのほかにございませんでしょうか。

[委員] 57ページの真ん中ぐらいに「利用実績は15,543人日」とありますが、単位に「/年」は要らないのかなと思いました。57ページの「現状と課題」のところです。

[事務局] 表記のほう、訂正させていただきたいと思います。ありがとうございます。

[会長] その他、全般的なことでも結構ですので。ご意見等があればよろしくお願いいたします。

[委員] これだけの資料を作られるのはとても大変だったと思います。学校の子どもの様子を見たときに非常に課題が多いところがあって、地域の取り組みで少しでも関心が高まっていけばと思います。今、量的な話をいろいろと伺いましたが、中身、質的なところを高めていきたい、連携を強めていきたいというようなところを、きちんと方向性をもって示していくことも大事だと思います。具体的な事業例が資料の中にたくさん並んでいますが、具体的にどれくらいの事業の実績が上がっているのかということと、その実績を見てどういうふうに開示したらいいかというあたりがあれば更にいいか

と思いますので、そういったところの事業についての評価、変更点、方向性、その辺りが載っていると更にわかりやすいかなと思います。実際どこにどれくらいお金を使って、実績があるのか、どれくらい人が関わっているのかということ辺りを明確にすると、具体的にコスト面をどうしていったらいいかという方向性が見えてくるのかなということをおもいましたので、できる部分があれば町で考えていったらいいかなと思いました。

もう一つが、子どもたちの生活にいろんな家庭的な課題がある場合に、今、家庭的な課題を地域でバックアップできていないような社会状況になっているところがあります。コミュニティづくり、地域づくりをしっかりとやっていかないと、なかなか子どもが健全に育っていくということが難しいのかなと思いますので、そういうことに向けた取り組みあたりのことを載せてくれたらと思います。

大津町にはいっぱい社会的な施設などいいところがあって、公民館、図書館、病院、施設とか、いろんなところがあって、そこと連携しながら子供を育てていくことのメリットというものがたくさんある気がします。町内にあるスポーツ施設や公民館、図書館、病院、商工会あたりも協力して子育てのためにいろんなことをやっていただけたらと思いますので、その辺の連携ができるような組織や取り組みをやっていただければと思います。

84 ページにある進捗状況の点検というところでもいいかもしれませんが、どうかたちで点検をして、点検されたことをどう活かしていくのか、というところをもう少し具体的に、組織とか期間、時期、半年おきにとか、そういう点検を経て変えていきたいというところができたらいいかなと思います。

お互いの顔が見えるような関係にならないと、連携あたりがうまくいってないということが出てくると難しいと思うので、頑張ってもらえる方の顔が見える関係ができるような仕組みができてくるといいのかなと思っておりますので、考えていただいて、協力してやっていければと思います。

[事務局] 少し検討させていただいて、入れられる部分については入れていきたいと思っています。

[会長] ここに書いてある数値的なものは後でこういうふうになっていますとか、こういうふうにやっていきますとか、別枠でもある程度わかるような形があれば、そういう資料をつけて会議で状況を報告していただければ、どこまで進んでいるか、どういうふうにしたかということがわかるかだと思いますので、仕事のほうは大変だと思いますけれども、検討していただくということでもよろしくお願ひします。

[委員] 目指す姿が出て、大枠の図が出てきて、具体的にこうしようというのが出てきてすごくいいなと思いましたが、地域と事業所がどうするのか、図を出すと、そ

れに対してどんな施策をするのだろうかということをやはりどうしても私たちは期待してしまいます。そこに対して私たちはどう考えたらいいいのか、例えば5年以内でできるのか、そういう地域づくりの中で地域はどんな役割をしていけばいいのか、それは民間の団体はもちろん関わっていますが、大津だったら事業者がどのように関われるのか、そんなところが期待とともに気になりました。

そしてもう一つ、45ページ、計画の全体像もすごくわかりやすく、こういうふうなかたちで子どもが、妊娠した時から産後、小学校、と育っていくのが、わかりやすくいいなと思いましたが、計画の全体像の中と、こっちの文言が統一できてなかったりします。例えば45ページでは「妊婦検査」と書いてありますが、46ページでは「妊婦健康検診」と書いてあります。次のところでは「妊婦健康診査」と書いてありますので、こういったところを全部調整していただけると、ここにいた人のことはこういうふうと考えてあるということがわかりやすくなると思います。全体を見たときにそういうところがほかにもあるので、そこを調整していただけたらと思いながら読ませていただきました。

[委員] 45ページに「障がいのある子どもへの支援」と書いてありますが、それが後ろの資料の何ページにつながっているのか、そういうところまで書いてあると恐らく見やすくなって、具体的にそのことについてどんなことがされているかというところがわかりやすいかと思います。

[委員] それから、「健やかな成長発達への支援」が最初に書いてありますが、これでは一番上に「障がいのある子どもへの支援」があります。その辺りの順列を変えていただけるとすごくいいかなと思いました。

[会長] その辺りは修正のほうよろしくお願いします。ほかに何かお気づきの点とかお聞きになられたい点とかございませんでしょうか。

この後のスケジュールについては、どのようになりますか。

[事務局] 今、いろいろご提案をいただきまして、パブコメを2月に1か月くらい予定していますが、今ご提案いただいたところを調整させていただいて、パブコメ案を郵送させていただきます。1か月くらいパブコメしまして、3月上旬、うちのほうで取りまとめをしまして、3月後半、最後のほうになるかと思えますけれども、最後にもう1回パブコメも含めて最後に会議をさせていただいて、策定の方向にいきたいというところでもよろしくお願ひいたします。

[会長] 今、事務局から説明がありましたとおり、だいぶ意見も出ましたので、この計画に折り込んでいくもの、また別枠でやっていくものを整理させていただいて、整理

した計画を事務局のほうから後日送付するという事です。期間がもうありませんが、2月から整理した計画をパブコメにかけていくということです。どのくらいの意見が出るかわかりませんが、出た場合等も含めて事務局のほうでパブコメの内容等を整理させていただいて、最終的には3月後半にもう一度この会議をして、この計画を確定させるという流れです。委員さんもパブコメができないことはありませんので、何か意見がありましたらよろしくお願ひします。最終的にはもう1回会議を行うということでやっていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

続きまして、私立幼稚園の新制度への移行について説明をお願ひします。

## (2) 私立幼稚園の新制度への移行について

### 【事務局より説明】

[会長] ありがとうございます。白川幼稚園さんが4月から新制度に該当する幼稚園に移行されるということです。ただ利用されている方々については特段の変更はないということだそうです。何かご質問があればよろしくお願ひいたします。

## (3) その他

[会長] そのほか何かございますか。

## 3. 閉会

[事務局] ありがとうございます。これをもちまして、大津町子ども・子育て会議を閉会いたします。

皆さん、ご起立をお願ひいたします。

お疲れさまでした。ありがとうございます。